だれもがくらしやすいまちづくりに向けたアンケート調査 (ユニバーサルデザインに関するアンケート調査) 結果の報告

1 目的

ユニバーサルデザイン推進計画 2025 実施計画 2025 の計画期間は令和7 (2025)年度をもって満了する。次期ユニバーサルデザイン推進計画の策定に向け、ユニバーサルデザインに対する意識や、求める施策の方向性を把握するため、区民アンケート調査を実施した。調査票については、前回のユニバーサルデザイン推進協議会でのご意見を踏まえて作成した。(資料4)

2 調査の概要

項目	内容
対象	住民基本台帳から無作為抽出した 18 歳以上の区民 3,000 名(外国籍住民含む)
配布・回答方法	配 布:郵送による 回 答:郵送または WEB
調査期間	郵 送:令和6(2024)年9月17日~10月8日 WEB:令和6(2024)年9月17日~10月14日
配慮事項	・外国籍住民には英語版の調査票を同封 ・調査票の漢字にはふりがなを振った ・調査票および封筒にユニボイス印字

3 回収数

回収数:1,033件/配布数3,000件

(郵送回答:690件、WEB回答:343件)

回収率:34.4%

4 調査結果のまとめ

①ユニバーサルデザインの認知度

- ○理解度や認知度は、前回調査時と比べるとは 7~8 %上昇したが、まだ低いと言える。ただし、回答者の年代によって大きな違いがあり、若年層ほど認知度が高い(問 8、15・16 ページ)。
- ○障害者差別解消法によって定められている「合理的配慮」の認知度については、「ユニバーサルデザインを知っている」人ほど認知度が高い傾向にある(問 12、23 ページ)。

②ユニバーサルデザインへの評価

○「ユニバーサルデザインの取組が 10 年前に比べて進んでいるかどうか」を問うと、「思う」「まあ思う」の合計は約4割であった。なお、ユニバーサルデザインへの認知度が高いほど評価が高い傾向がある(問 13、24ページ)。

③どの分野のユニバーサルデザインが進んでいるか

○「取組が進んでいる」と思う上位3つは「だれもが快適に利用できるトイレ」、「目的地までスムーズに移動できる公共交通機関」、「だれもが快適に利用できる建物や公園」とハード面は進んでいると感じている。なお、ユニバーサルデザインの認知度の違いによる顕著な傾向は見られなかった(問14、26ページ)。

④ユニバーサルデザインへのニーズ

- ○全体で最も高いのは「だれもがわかりやすく収集・利用しやすい情報の提供」であった。特に、高齢者層からのニーズが高い。自由記述を見ると、オンライン化に対する期待と不安が両方存在している(問 16、29・30 ページ問 17、33 ページ)。
- ○次に二ーズが高いのは「誰一人取り残さないための災害時・緊急時の備え」であった。「障がい者世帯」、「介護・介助者世帯」で特に高く、いざという時の心配が大きいことが伺われる(問 16、29・30 ページ)。
- ○3番目は「だれもが快適に利用できるトイレ」であり、特に、「妊娠中・未就学児世帯」でその割合が高い(問 16、29・30・31 ページ)。
- ○4番目は「目的地までスムーズに移動できるための公共交通機関」であり、「妊娠中・未就学児世帯」、「介護・介助者世帯」、「障がい者世帯」からのニーズが高い(問16、29ページ)。

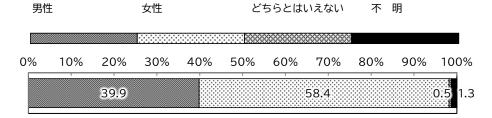
- ○その他、世帯類型別の主な特徴を見ると「外国籍者世帯」では、「多様な立場の方を理解する学びや交流の場」、「多様な人が社会や地域活動に参加できる環境」づくりに対するニーズが高くなっている(問 16、29・30・31ページ)。
- ○「小中学生世帯」では、「くらしを便利で豊かにするサービスの提供」、「目的地までスムーズに移動できるための公共交通機関」の順で高くなっている(問 16、29・30・32ページ)。

5 集計結果

問1 あなたの性別についてお聞かせください。(単数回答)

○「女性」の回答率が58.4%と最も多かった。

N = 1033



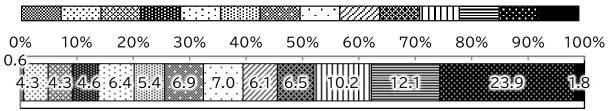
	あなた	:の性別につい ⁻	てお聞かせくだ	さい。
全体	男性	女性	どちらとは いえない	不明
100(%)	39.9	58.4	0.5	1.3
1,033(人)	412	603	5	13

問2 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。(単数回答)

○ 「65 歳以上」の割合が 46.2%と約半数を占め、そのうち半分(23.9%)が「75 歳以上」だった。

N = 1033

18 · 20~ 25~ 30~ 35~ 40~ 45~ 50~ 55~ 60~ 65~ 70~ 75歳 不明 19歳 24歳 29歳 34歳 39歳 44歳 49歳 54歳 59歳 64歳 69歳 74歳 以上

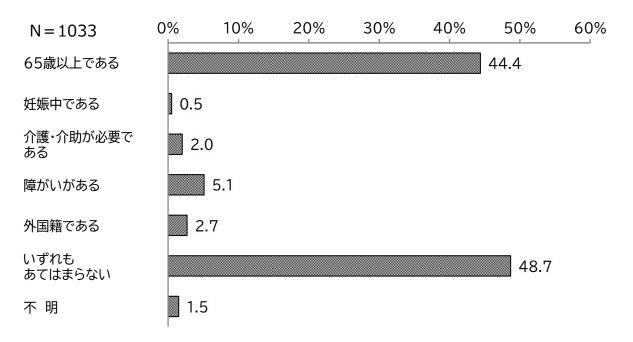


		あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。					
全 体	18 ·19歳	20 ~24歳	25 ~29歳	30 ~34歳	35 ~39歳	40 ~44歳	
100(%)	0.6	4.3	4.3	4.6	6.4	5.4	
1,033(人)	6	44	44	48	66	56	

	あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。									
	45 ~49歳	50 ~54歳	55 ~59歳	60 ~64歳	65 ~69歳	70 ~74歳	75歳 以上	不明		
ĺ	6.9	7.0	6.1	6.5	10.2	12.1	23.9	1.8		
	71	72	63	67	105	125	247	19		

問3 あなたは次のどれに該当するか教えてください。(複数回答)

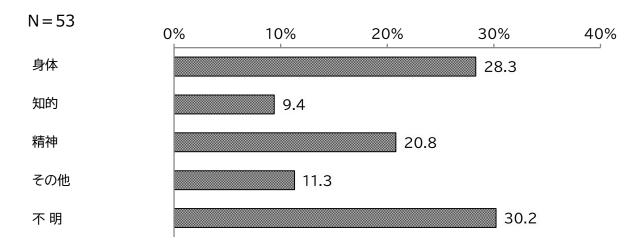
○回答者のうち「65 歳以上」が 44.4%、「妊娠中」が 0.5%、「介護・介助が必要である」が 2.0%、「障がいがある」が 5.1%、「外国籍である」が 2.7%であった。



	あなたは次のどれに該当するか教えてください。							
全 体	65歳以上で ある	妊娠中である	介護・介助が 必要である	障がいがある		いずれも あてはまらない	不明	
100(%)	44.4	0.5	2.0	5.1	2.7	48.7	1.5	
1,085(人)	459	5	21	53	28	503	16	

問3 (障がいがある) 障がいの種類を教えてください。(複数回答)

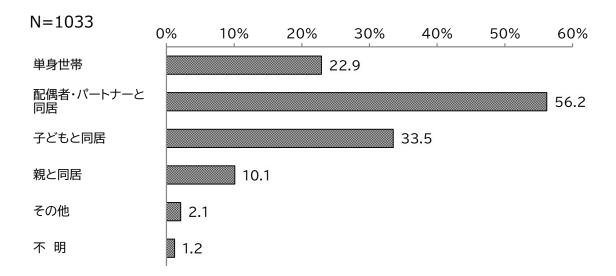
○「不明」を除くと「身体障がい」が 28.3%と最も多い。次いで「精神」が 20.8%、「知的」が 9.4%であった。



A //		障がいの種類を教えてください								
全 体	身体 知的 精神 その他 不									
100(%)	28.3	9.4	20.8	11.3	30.2					
53(人)	15	5	11	6	16					

問4 あなたの世帯構成をお聞かせください。(複数回答)

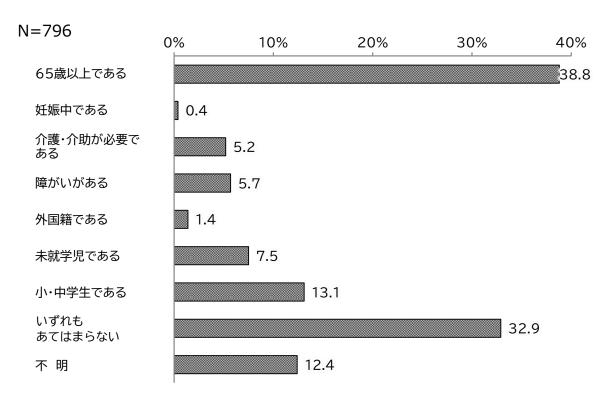
○「配偶者・パートナーと同居」が 56.2%と最も多く、次いで「子どもと同居」 が 33.5%、「単身世帯」が 22.9%、「親と同居」が 10.1%であった。



	あなたの世帯構成をお聞かせください。							
全 体	単身世帯	配偶者・パートナーと同居	子どもと同居	親と同居	その他	不明		
100(%)	22.9	56.2	33.5	10.1	2.1	1.2		
1,302(人)	237	581	346	104	22	12		

問5 あなたと同居する方は次のどれに該当するか教えてください。(複数回答)

○「65 歳以上」の同居者がいるが 38.8%、「妊娠中」が 0.4%、「介護・介助が 必要である」が 5.2%、「障がいがある」が 5.7%、「外国籍である」が 1.4%、 「未就学児である」が 7.5%、「小・中学生である」が 13.1%であった。

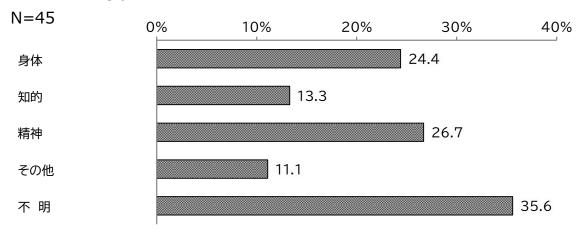


A 44	あなたと同 次のど	居する方は れに該当するか	外教えてください	, \ _o	
全体	65歳以上 である 妊娠中である 介護・介助が 必要である 障がいがある				
100(%)	38.8	0.4	5.2	5.7	
934(人)	309	3	41	45	

あなたと同居する方は次のどれに該当するか教えてください。								
外国籍である 未就学児 である 小・中学生 である いずれも あてはまらない 不明								
1.4 7.5 13.1 32.9 12.4								
11	60	104	262	99				

問5 (障がいがある) 障がいの種類を教えてください。(複数回答)

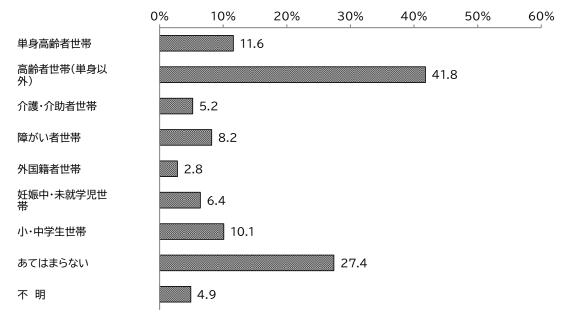
○「不明」を除くと、「精神」が 26.7%と最も多く、「身体」が 24.4%、「知的」 が 13.3%であった。



A 44	障がいの種類を教えてください							
全体	身体	知的	精神	その他	不明			
100(%)	24.4	13.3	26.7	11.1	35.6			
50(人)	11	6	12	5	16			

【世帯類型について】

- ○問3~問5を利用して世帯の類型を行った。
- ○「高齢者世帯(単身以外)」が 41.8%ともっとも多く、「単身高齢者世帯」が 11.6%、「小・中学生世帯」が 10.1%、「障がい者世帯」が 8.2%、「妊娠中・未就学児世帯」が 6.4%、「介護・介助者世帯」が 5.2%、「外国籍者世帯」が 2.8%であった。
- ・単身高齢者世帯:65歳以上の高齢者のうち単身世帯であると回答した人
- ・高齢者世帯:本人もしくは同居者が65歳以上で単身高齢者世帯以外
- ・介護・介助者世帯:本人もしくは同居者が介護・介助が必要であると回答した世帯
- ・障がい者世帯:本人もしくは同居者が障がい者であると回答した世帯
- ・外国籍者世帯:本人もしくは同居者が外国籍であると回答した世帯
- ・妊娠中・未就学児世帯:本人もしくは同居者が妊娠中であると回答した世帯、 および、同居者が未就学児であると回答した世帯
- ・小・中学生世帯:同居者が小・中学生であると回答した世帯
- ・あてはまらない:問3で、 $1\sim5$ にあてはまらないと回答し、かつ、問4で 単身または問5で $1\sim7$ にあてはまらないと回答した世帯



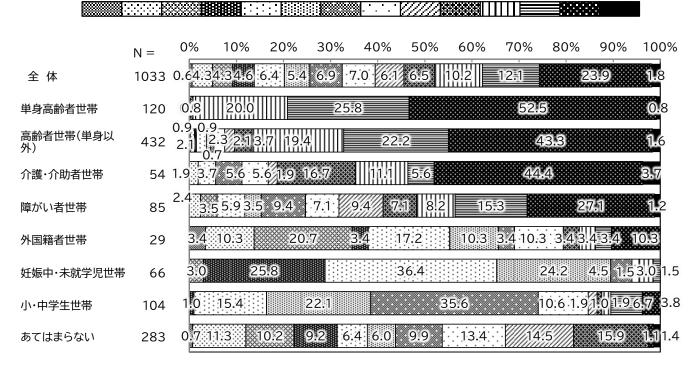
					家族属性				
全 体	単身高齢 者世帯	高齢者世帯(単身 以外)	介護·介 助者世帯	障がい者 世帯	外国精石	妊娠中・ 未就学児 世帯	小·中学 生世帯	あてはま らない	不明
100(%)	11.6	41.8	5.2	8.2	2.8	6.4	10.1	27.4	4.9
1,224(人)	120	432	54	85	29	66	104	283	51

[※]複数の属性にまたがる人が居るため、属性別の合計人数は1033人を超える。

【世帯類型別の年代構成】

- ○「単身高齢者世帯」のうち 75 歳以上の人は 52.5%、「高齢者世帯(単身以外)」 は 43.3%であった。
- ○「介護・介助者世帯」「障がい者世帯」については65歳以上がそれぞれ61.1%、50.6%。75歳以上がそれぞれ44.4%、27.1%であった。

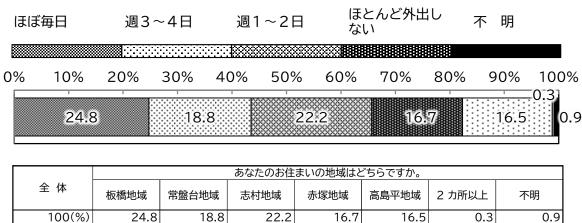
18・ 20~ 25~ 30~ 35~ 40~ 45~ 50~ 55~ 60~ 65~ 70~ 75歳 79歳 24歳 29歳 34歳 39歳 44歳 49歳 54歳 59歳 64歳 69歳 74歳 以上



問6 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(単数回答)

○「板橋地域」が 24.8%と最も多く、「高島平地域」が 16.5%と最も少なかった。

N = 1033



問7 あなたはふだん一週間のうち、どのくらい外出しますか。(単数回答)

229

172

170

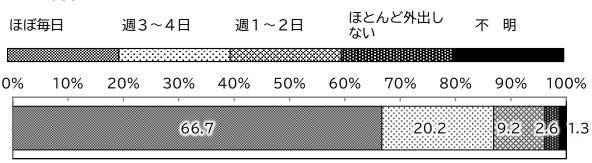
○「1週間のうちほぼ毎日外出する」が 66.7%と最も多く、「週 3 日以上」が 約 87%であった。

N=1033

1,033(人)

256

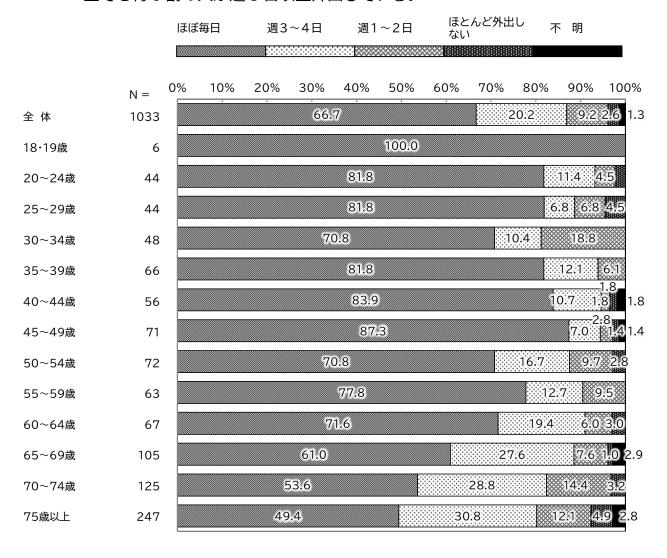
194



	あなた	すか。			
全 体	ほぼ毎日	週3~4日	週1~2日	ほとんど 外出しない	不明
100(%)	66.7	20.2	9.2	2.6	1.3
1,033(人)	689	209	95	27	13

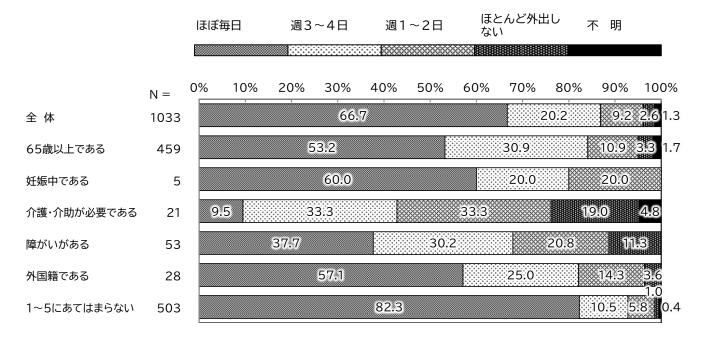
【年代別比較】

○年代が高くなるほど、外出頻度が下がる傾向が見られた。ただし、75歳以上でも約8割の人が週3日以上外出している。



【本人の属性別比較】

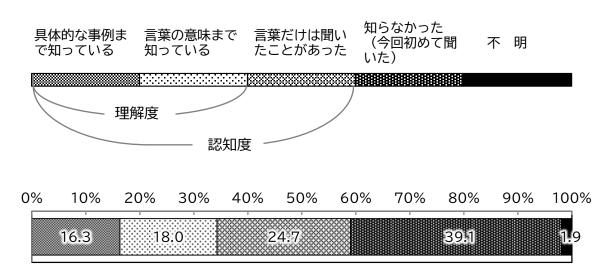
- ○「介助・介護が必要である」は「ほぼ毎日」が 10%未満である一方、「ほとんど外出しない」が 19.0%と、外出頻度が他と比べ低い傾向であった。
- ○「障がいがある」人は「ほぼ毎日」が 37.7%で「週 3 日以上」が 67.9%であった。

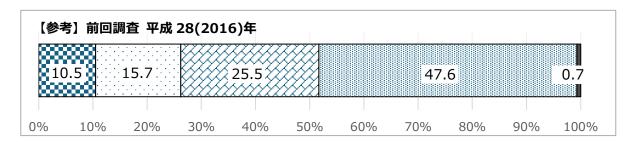


問8「ユニバーサルデザイン」について、どの程度知っていますか。(単数回答)

○「具体的な事例まで知っている」、「言葉の意味まで知っている」の合計である 理解度は34.3%、「言葉だけは聞いたことがある」を含めた認知度は59.0% と、平成28(2016)年の前回調査時から7~8%上昇した。

N = 1033

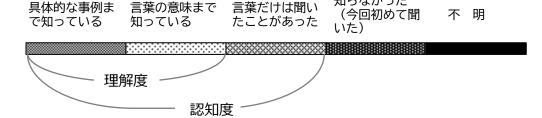




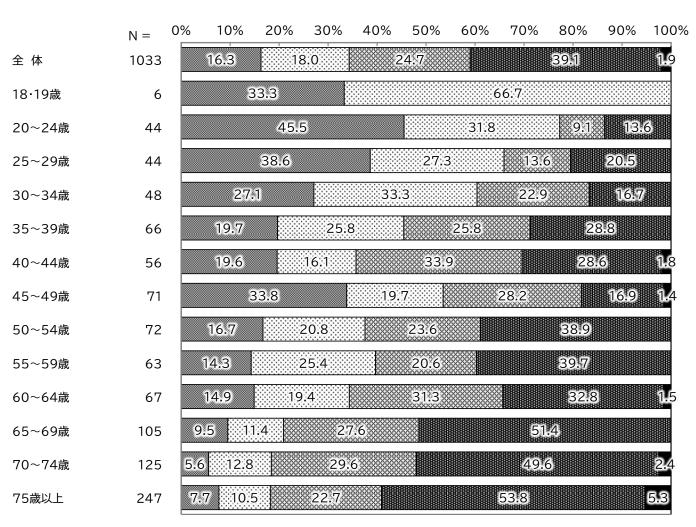
	Гユ	ニバーサルデザイ	ン」について、どの	程度知っています	か。
全 体	具体的な事例 まで知っている	言葉の意味まで 知っている	言葉だけは聞い たことがあった	知らなかった(今 回初めて 聞いた)	不明
100(%)	16.3	18.0	24.7	39.1	1.9
1,033(人)	168	186	255	404	20

【年代別比較】

○若年層ほどユニバーサルデザインの認知度が高く、20代の理解度は6割を超え、認知度は約8割を超えた。一方、65歳以上はそれぞれ約2割以下、約4割以下であった。

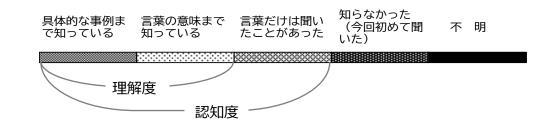


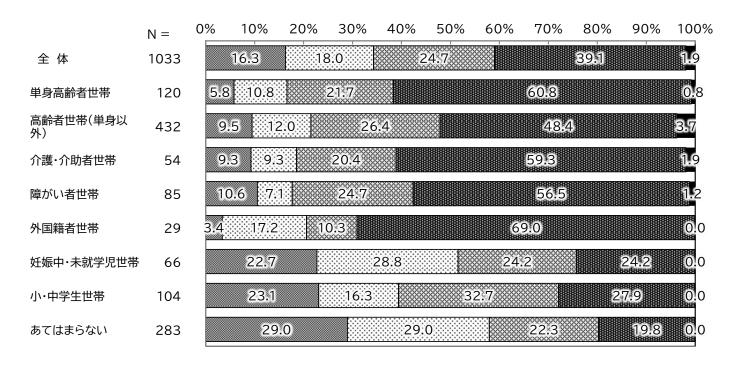
知らなかった



【世帯類型別比較】

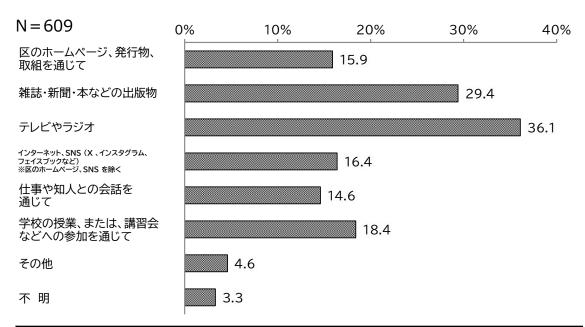
- ○「妊娠中・未就学児世帯」「小・中学生世帯」「あてはまらない」世帯はユニバーサルデザインの認知度が高く、理解度は約4割を超え、認知度は7割以上であった。
- ○「高齢者世帯」「介護・介助者世帯」、「障がい者世帯」「外国籍世帯」は比較的 認知度が低く、理解度は約2割以下、認知度は5割以下だった。





問9(問8で「具体的な事例まで知っている」「言葉の意味まで知っている」「言葉だけ聞いたことがあった」と回答した人)「ユニバーサルデザイン」を知った主なきっかけはどれですか。(複数回答)

○「テレビやラジオ」が 36.1%、次いで「雑誌・新聞・本などの出版物」が 29.4%、「学校の授業、または、講習会などへの参加を通じて」が 18.4%であった。



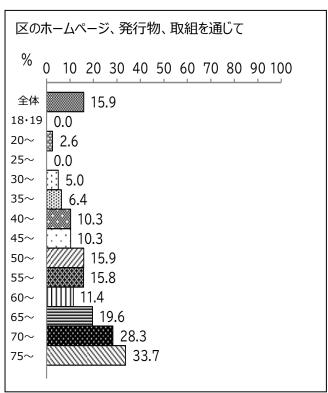
			「ユニバーサルラ	デザイン」を知っ	た主なきっかけ	けはどれですか。	•	
全 体	区のホーム ページ、発行 物、取組を 通じて	雑誌・新聞・本 などの 出版物	テレビや ラジオ	インターネット、SNS(X、インスタグラム、フェイス ガックなど) ※区のホーム ページ、SNS を除く	仕事や知人と の会話を 通じて	学校の授業、 または、講習 会などへの 参加を通じて	その他	不明
100(%) 15.9	29.4	36.1	16.4	14.6	18.4	4.6	3.3
845(人) 97	179	220	100	89	112	28	20

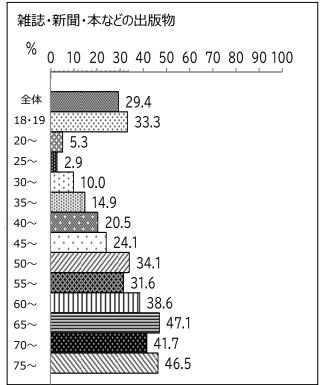
(その他)

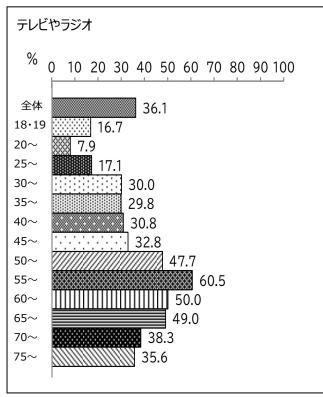
- ○勤務先の施策を通じて(5)
- ○会社の研修にて(2)
- ○電車の中のシート(2)
- ○街中に貼られているお出かけマップ
- 〇出先の建物などで見かけて
- ○駅構内や建築物、施設内
- ○製品に書いてあった
- ○資格取得時のテキストで(2)
- ○ユニバーサルデザインを勉強している家族がいる

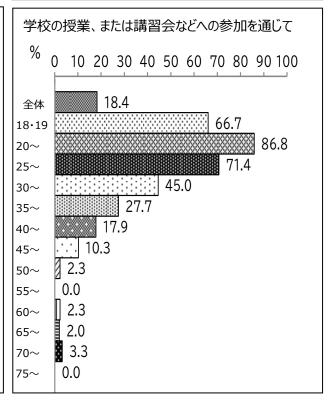
【年代別比較】

○「区のホームページ、発行物、取組みを通じて」「雑誌・新聞・本などの出版物」「テレビやラジオ」は高齢者層ほど高い割合となった。一方、「学校の授業、または、講習会などへの参加を通じて」は、20~24歳が86.8%であるなど若年層で非常に高い割合となった。







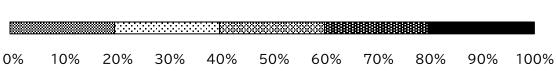


問 10 (問 8 で「知らなかった」と回答した人)あなたは「ユニバーサルデザインに関心がありますか。(単数回答)

○関心があると答えた人の合計は49.3%、「関心がない」は12.1%、「わからない」は37.9%であった。ユニバーサルデザインを知らない人でも関心が無い人は1割程度である。

N = 404

非常に関心がある 少し関心がある



わからない

関心がない

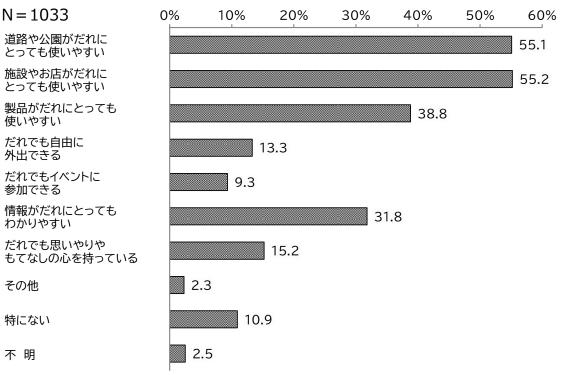
不 明

1 1	1	1 1	'	1 1
5.7	43.6	12.1		37.9

	あた	ネたは「ユニバー	-サルデザインに	関心があります	ナか
全体	非常に関心が ある	少し関心が ある	関心がない	わからない	不明
100(%)	5.7	43.6	12.1	37.9	0.7
404(人)	23	176	49	153	3

問 11 「ユニバーサルデザイン」という言葉から、あなたがイメージできる ことで、近いものはどれですか(複数回答)

○「施設やお店がだれにとっても使いやすい」が 55.2%、「道路や公園がだれにとっても使いやすい」が 55.1%とハードのイメージが高い割合を占めた。前回の調査と比較しても、ほぼ同じ傾向であった。

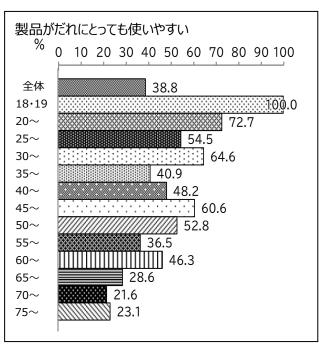


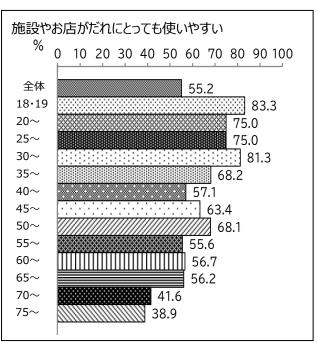
	「ユニバーサル あなたがイメー	デザイン」という -ジできることで	う言葉から、 で、近いものはと	ごれですか。		
全 体	全体 道路や公園が 施設やお店が 製品がだれに だれにとって だれにとって とっても も使いやすい も使いやすい 使いやすい					
100(%)	55.1	55.2	38.8	13.3		
2,422(人)	569	570	401	137		

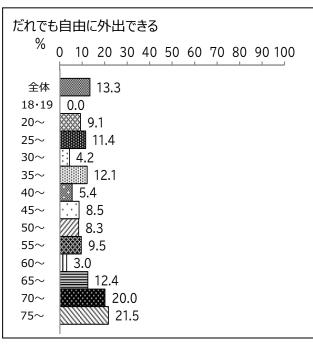
「ユニ	バーサルデザイ あなたがイメ	´ン」という言葉 ゙ージできること		こどれですか。				
だれでも 情報がだれに だれでも 思いやりやも てなしの心を 持っている 持っている								
9.3	31.8	15.2	2.3	10.9	2.5			
96	329	157	24	113	26			

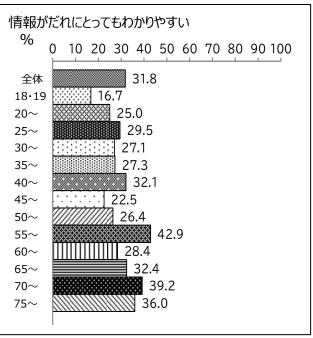
【年代別比較】

- ○「製品がだれにとっても使いやすい」は若年層では5割を越えたのに対し、高齢者層では2割台と、年代別で顕著に差があった。「施設やお店がだれにとっても使いやすい」も同様に、若年層の割合は高く、高齢者層は低い傾向にあった。
- ○一方、「だれでも自由に外出できる」「情報がだれにとってもわかりやすい」は 若年層と比べると、高齢者層の割合が比較的高い傾向にあった。





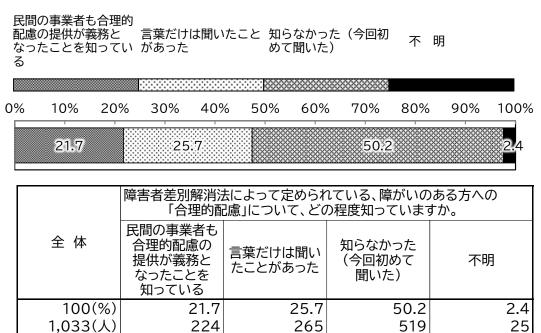




問 12 障害者差別解消法によって定められている、障がいのある方への「合理的配慮」について、どの程度知っていますか。(単数回答)

○合理的配慮を「知らなかった(今回初めて聞いた)」と答えた割合が 50.2%と 最も多い回答であった。

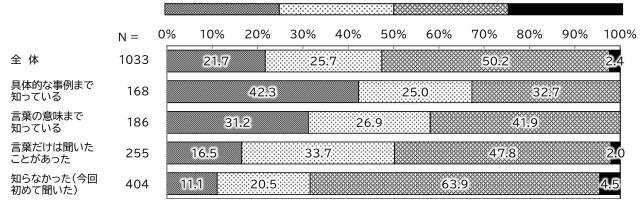
N = 1033



【認知度別比較】

○「ユニバーサルデザインについて知っている」人ほど合理的配慮についても知っている割合が高く、「民間事業者の合理的配慮の義務を知っている」と回答した人は42.3%であった。「ユニバーサルデザインについて知らなかった」人は11.1%であった。

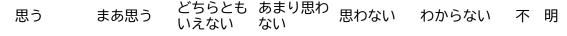
民間の事業者も合理的 配慮の提供が義務と 言葉だけは聞いたこと 知らなかった(今回初 なったことを知ってい があった めて聞いた) 本 明



問 13 10 年前とくらべて、あなたの生活の中でユニバーサルデザインの取組は進んでいると思いますか。(単数回答)

○10 年前に比べて良くなったと「思う」「まあ思う」の合計は 41.3%、一方、「あまり思わない」「思わない」の合計は 15.0%であった。「わからない」は 23.9%であった。

N = 1033

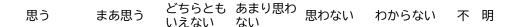


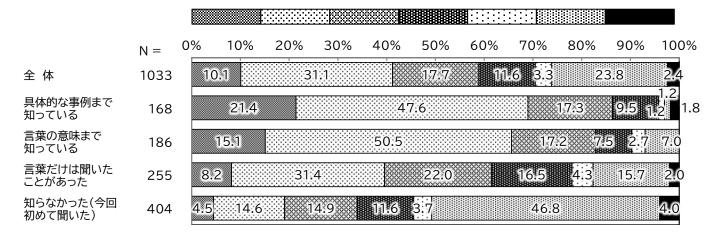
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
10	D.1	31	2		17.6	11	1.7 3.3	2	3.9	2.3

	10年前と<	くらべて、あなた	の生活の中でこ	1ニバーサルデ ⁻	ザインの取組は	進んでいると思	いますか。
全 体	思う	まあ思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない	わからない	不明
100(%)	10.1	31.1	17.7	11.6	3.3	23.8	2.4
1,033(人)	104	321	183	120	34	246	25

【ユニバーサルデザインの認知度別比較】

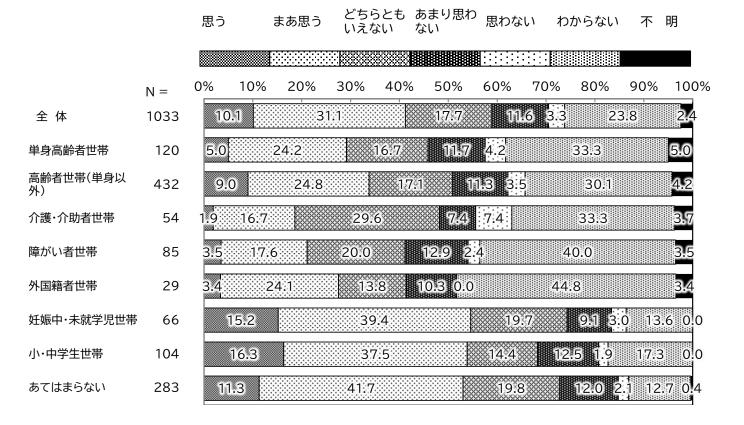
○「ユニバーサルデザインについて知っている」人の約7割が進んでいると思っているのに対し、「ユニバーサルデザインについて知らなかった」人は2割程度になる。ただし、「ユニバーサルデザインについて知らなかった」人のうち半分程度は「わからない」と答えている。





【世帯類型別比較】

○「単身高齢者」「高齢者世帯」「介護・介助者世帯」「障がい者世帯」「外国籍世帯」では「わからない」が最も高く、3~4割程度いた。一方、「妊娠中・未就学児世帯」「小・中学生世帯」では5割以上が取組が進んでいると感じている。



問 14 (取り組みが進んでいると「思う」「まあ思う」人に対して)具体的に どんなことで感じますか(複数回答)

○「だれもが快適に利用できるトイレの整備が進んだと思うから」が最も多く 53.4%、次いで「目的地までスムーズに移動できるための公共交通機関や道路などの整備が進んだと思うから」が 43.8%であった。

N = 425

ユニバーサルデザインに対する理解や関心が高まる ような広報・啓発活動が実施されているから

障がいのある方や外国人等、多様な立場の方を 理解する学びや交流の機会があったから

区職員のユニバーサルデザインの意識が 向上したと思うから

だれもがわかりやすく、収集・利用しやすい情報提供の普及が進んだと思うから(印刷物や案内板、ホームページなど)

くらしを便利で豊かにするサービスの提供が普及してきたと 思うから(手続のオンライン化、気配りのある対応など)

目的地までスムーズに移動できるようにするための公共交通機関 (鉄道やバスなど)や道路などの整備が進んだと思うから

だれもが快適に利用できる建物や公園の整備が 進んだと思うから

だれもが快適に利用できるトイレ(施設、駅、公園など)の整備が進んだと思うから

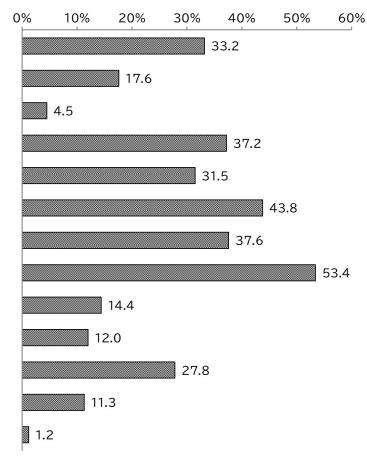
多様な人が社会や地域活動に参加できる 環境づくりが進んだと思うから

多様な人の意見を取り入れるしくみづくりが 進んだと思うから

ユニバーサルデザインに取り組む民間企業等が 増えてきたと思うから

区、地域活動団体、大学、民間企業など、各主体の 連携・協働が進んだと思うから

その他

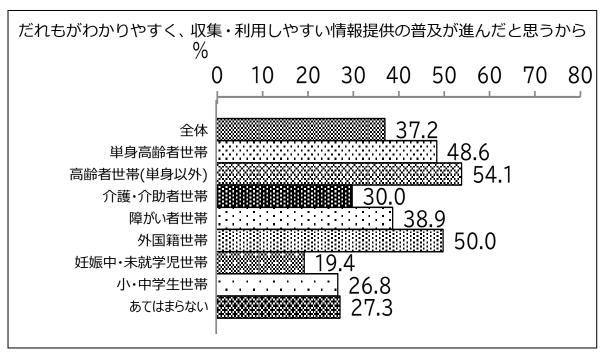


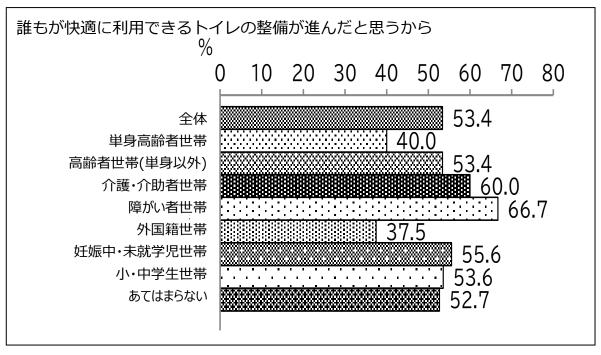
			具体的にどんなこ	ことで感じますか。		
全 体	ユニバーサル デザインに対す る理解や関心が 高まるような広 報・啓発活動が 実施されている から	障がいのある方 や外国人等、 多様な立場の方 を理解する学び や交流の機会が あったから	区職員のユニ バーサルデザイ ンの意識が向上 したと思うから	だれもがわりり やすいり やすい 利用しいですい 情報提供の音及が進んだと思うから(印刷物や案内板、ホームページなど)	くらしを便利で 豊かにするサー ビスの提供が 普及してきたと 思うから(手続 のオンライン化、 気配りのある 対応など)	目的地までス ムーズにを動で たるようにする ための公共交通 機関(鉄道やバ スなど)や道路 などの整備が進 んだと思うから
100(%) 1,383(人)	33.2 141	17.6 75	4.5 19	37.2 158		43.8 186
		具体的に	どんなことで感じ	ますか。		
だれもが快適に 利用できる建物 や公園の整備が 進んだと	だれもが快適に 利用できる トイレ(施設、駅、 公園など)の 整備が進んだと	多様な人が社会 や地域活動に 参加できる環境 づくりが進んだ	多様な人の意見 を取り入れるし くみづくりが進 んだと思うから	ユニバーサルデ ザインに取り 組む民間企業等 が増えてきたと	区、地域活動団 体、大学、民間 企業など、各 主体の連携・ 協働が進んだと	その他
思うから	思うから	と思うから	7072218 273 3	思うから	思うから	
	思うから 53.4		12.0	思っから 27.8 118	思うから 11.3	1.2 5

【世帯類型別比較】

- ○「単身高齢者」「高齢者世帯」は、「だれもがわかりやすく、収集・利用しやすい情報提供の普及が進んだと思うから」が最も高く、それぞれ 48.6%、54.1%だった。
- ○「障がい者世帯」「妊娠中・未就学児世帯」「小・中学生世帯」では「だれもが 快適に利用できるトイレの整備が進んだと思うから」が最も高く、それぞれ、 66.7%、55.6%、53.6%であった。

N = 425



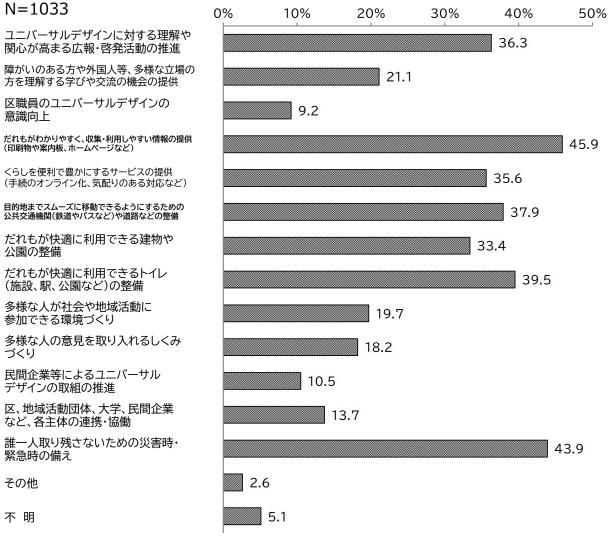


問 15 【問 13 で「1 思う」、「2 まあ思う」と回答された方以外におうかがいします。】 差し支えなければ、理由を教えてください。

分 類	理由
ハード面	・聞きはするが目には付かない。(3)
	・取り組み自体が不明瞭だし、環境が改善されているとは思え
	ない。
	・10年で進んだと思うが、大きく違ったところはないと思う
	から。
	・ベビーカーの移動は駅のエレベーターが少なく、移動に苦労
	するから。例えば東京駅の新幹線などエレベーターを探し回
	ってしまう。
	・飲食店や駅など階段が多く、高齢者や車椅子の方などは不便
	なため。
ソフト面	色のユニバーサルデザインに関しては、進んでいるとは思え
	ない。
情報が少ない	ユニバーサルデザインの言葉が目につかない(広報不足)
取組の成果が	実際には様々な取り組みがあり進んでいるとは思うが、自分
見えない	の実感として上記にあるような例を具体的に思い浮かべるま
	ではいかない。
意識していな	・ユニバーサルデザインである事を表示されなければ、気が付
()	かないから。
	・そういう視点を持って建物や製品を見ていなかった。
初めて知った	・正直ユニバーサルデザインと云う言葉さえ今回初めて聞き
	く上に、区が推進に取組んでいるのも初めて知ったため。
	・アンケート内容を読み、勉強になった。
意味がわから	日本語でないとわからない。(2)
ない	
その他	精神障がいの人にはあまり恩恵を感じられない。身体障がい
	向けのユニバーサルデザインが多い印象。

問 16 今後のユニバーサルデザインの推進に向け、「特に力を入れたほうがよいもの」はどれですか(複数回答)

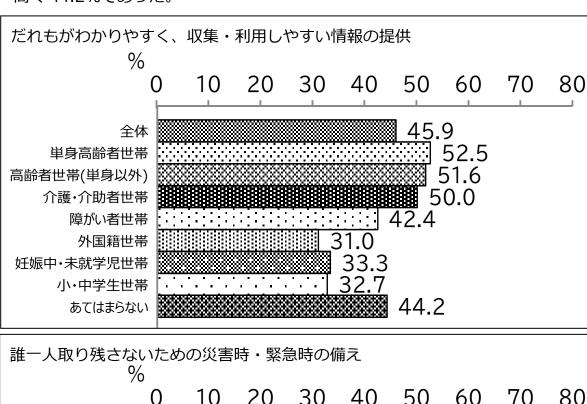
○「だれもがわかりやすく、収集・利用しやすい情報の提供」が 45.9%と最も高く、次いで「誰一人取り残さないための災害時・緊急時の備え」が 43.9% であった。

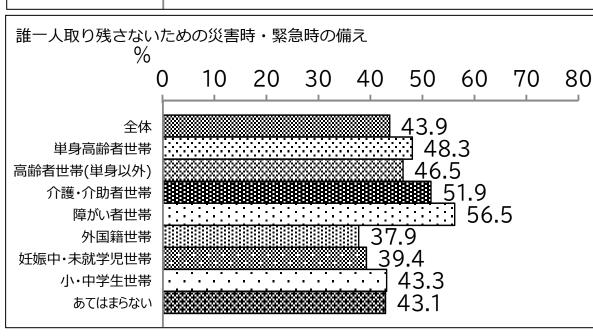


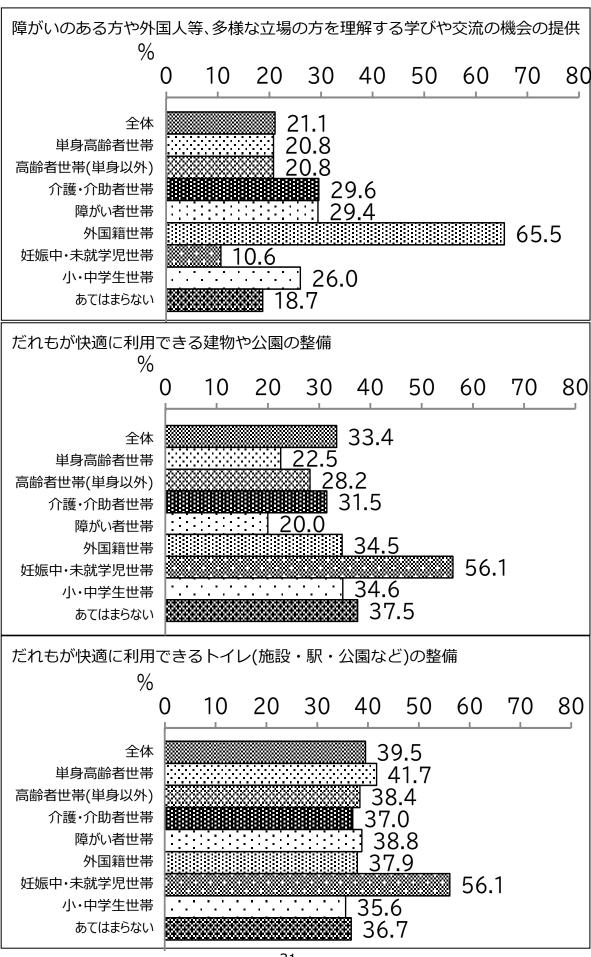
	4	後のユニバーサル	⁄デザインの推進に	デザインの推進に向け、「特に力を入れたほうがよいもの」はどれですか。							
全 体	ユニバーサルデ ザインに対する 理解や関心が 高まる広報・ 啓発活動の推進	障がいのある方 や外国人等、 多様な立場の方 を理解する学び や交流の機会の 提供	区職員のユニ バーサルデザイ ンの意識向上	だれもがわかり やすく、収集・利 用しやすい 情報の提供(印 刷物や案内板、 ホームページ など)	くらしを便利で 豊かにするサー ビスの提供(手 続のオンライン 化、気配りの ある対応など)	目的地までス ムーズに移動で きるようにする ための公共交通 機関(鉄道道の など)や道路 などの整備	だれもが快適に 利用できる建物 や公園の整備				
100(%)	36.3	21.1	9.2	45.9	35.6	37.9	33.4				
3,848(人)	375	218	95	474	368	391	345				
	今後のユニ	ニバーサルデザイン	の推進に向け、「特	まに力を入れたほう	ゔがよいもの」はど	れですか。					
だれもが快適に 利用できる トイレ(施設、駅、 公園など)の整 備	多様な人が社会 や地域活動に 参加できる 環境づくり	多様な人の意見 を取り入れる しくみづくり	民間企業等に よるユニバー サルデザインの 取組の推進	区、地域活動団 体、大学、民間企 業など、各主体 の連携・協働	誰一人取り 残さないための 災害時・緊急時 の備え	その他	不明				
39.5	19.7	18.2	10.5	13.7	43.9	2.6	5.1				
408	203	188	108	142	453	27	53				

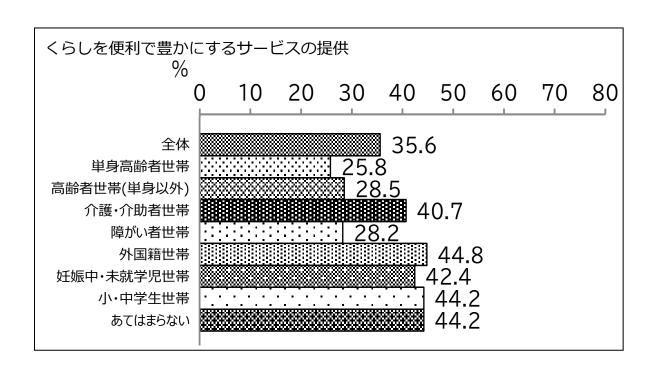
【世帯類型別比較】

- ○「単身高齢者」「高齢者世帯」は「だれもがわかりやすく、収集・利用しやすい情報の提供」が最も高く、それぞれ 52.5%、51.6%であった。
- ○「介護・介助者世帯」「障がい者世帯」は「誰一人取り残さないための災害時・ 緊急時の備え」が最も高く、それぞれ 51.9%、56.5%であった。
- ○「外国籍者世帯」では、「障がいのある方や外国人等、多様な立場の方を理解 する学びや交流の機会の提供」が最も高く、65.5%であった。
- ○「妊娠中・未就学児世帯」では「だれもが快適に利用できる建物や公園の整備」「だれもが快適に利用できるトイレの整備」が最も高く、ともに 56.1%であった。
- ○「小・中学生世帯」では「くらしを便利で豊かにするサービスの提供」が最も 高く 44.2%であった。









問 17 だれもがくらしやすいまちづくりを進める上で、期待することやご意見などがございましたら自由にお書きください。または、このアンケート全体を通じて補足したいことがございましたら、自由にお書きください。

■主なご意見(要旨)

【意識・普及啓発】

- ○小さい子どもに向けたユニバーサルデザインがもっと増えたらいい。
- ○段差の解消やサポートが必要な人への補助など様々な人に対する配慮が進め ばもっと暮らしやすくなると思う。

【情報・オンライン化】

- ○情報のオンライン化、シンプルでわかりやすい、求めている情報にたどり着く 使いやすいホームページデザイン。
- ○板橋区が発信する全て(印刷物、ホームページ)について、色のユニバーサル デザインを考慮してほしい。
- ○オンラインで何でも出来る様にしてほしい。
- ○区役所での手続きなど、対面だと言葉が聞き取りづらいときがあったが、オン ラインの普及で会話しなくてもできることが増えてきたので大変助かってい る。
- ○デジタル化だけでなく、紙による情報提供は続けてほしい。

【学び・交流】

○オンライン化を進める上で、年配の方々の PC やスマホ操作の向上は必須だと考える。区内で気軽に参加できる無料勉強会などがあれば、交流の場やスキルアップになるので良いと思う。

【道路・公共交通機関】

- ○道路・駅・バスのバリアフリー化を進めてほしい(段差解消やエレベーター設置など)。
- ○点字ブロックが敷設されている範囲が限定的であるため、広がることを期待する。
- ○ホームドア設置を進めてほしい。

【建物】

○学校や店舗のバリアフリー化を進めてほしい。

【トイレ】

- ○大人でおむつ交換ができるベッドを備えつけたトイレを増やしてほしい。
- ○重度障がい者の利用できるトイレが足りない。民間企業等の取り組みも促進 してほしい。
- ○他自治体において、誰でも使いやすいトイレを作る時に女性用スペースを潰して誰でもトイレを作った事例を目にした。サポートが必要な方にアプローチするのはもちろん必要だが、その時に他の属性の安全も忘れずに考慮してくれるような自治体であることを望む。

【社会参加】

- ○障がいのある人は、社会生活の選択(仕事、進学等)が限定されていて、枠に当てはまらない人はたくさんいると思う。障がいがあっても、人生の選択を自由にできる社会になってほしい。身体、知的障がいともにユニバーサルデザインが普通になったらいい。
- ○精神的な不調はかかえており、主に、生きづらさや生活面しにくさを感じている。心に元気がない人にとってのユニバーサルデザインもあっていいなとは思う。
- ○だれもが安心して外出が出来る社会を作ってほしい。

【多様な人の意見の取り入れ】

- ○誰にでも使いやすいデザインを作っていただくには、さまざまな立場にいる 人たちの意見が不可欠だと思う。
- ○困っている人の意見をうまく収集できる仕組みがあることが大事である。
- ○障がい者の方がもっと気楽に外に出られる町づくりと、人々の理解が大切である。そのために、障がいの方の意見も多く取り入れるべきである。
- ○障がい者など、日頃、困っている場面を共有できる(知ってもらう)機会や場が必要だと思う。

【多言語対応】

○区役所に多言語で対応できるスタッフがいればいいと思う。

【その他】

- ○アンケートの冒頭でふりがなを付けるかどうか選べたのが新鮮だった。
- OI appreciate this type of survey done by itabashi city. It's a foreigner friendly city. I'm living here for 1 years and I never faced and kind of discrimination.